

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/izu>

「まち」と共に…

校長 中澤 道則

令和5年を迎えて一カ月。本校においても新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いつつ、徐々に「まち」の皆さんとつながった活動や学習活動が再開されつつあります。

まずは1月21日。本校を会場として地域防災訓練が行われました。浅井委員長を始めとして、委員の皆さんが参加して、避難所開設のレクチャーを受けたり、段ボールベッドや簡易テントを組み立ててみたりと、充実した訓練となりました。私も参加したのですが、段ボールベッドはパズルのようで組み立てるのに一苦勞でした。これも実際にやってみて分かることです。万一に備えての訓練の大切さを改めて感じました。

次は学習。2年生では和泉わかば会会長の平川さんをお招きして「手作りおもちゃ教室」が行われました。牛乳パックや、バドミントンのシャトルを使ったおもちゃです。2年生の子ども達、平川さんのお話をよく聞いて熱心におもちゃ作りに取り組んでいました。出来上がったおもちゃで遊ぶ子ども達は、口々に「楽しい～」とご満悦です。他にも4年生で地域ケアプラザの皆さんや大風保存会の皆さんを招いての学習を行う等、「まち」の皆さんとつながった様々な学びが広がっています。「まち」に暮らす子ども達にとって「まち」とのつながりはとても大切です。本校学区にある小谷山公園は子ども達が大好きな「遊び場」です。昨年の7月にはタウンニュースの「ほっこりいずみ」コーナーに、この公園の花壇に自治会の発案で水やり用のじょうろが置かれた話が掲載されていました。公園に集う方々がそのじょうろで花壇の花に水をやってくれているのだそうです。そんなところにも「まち」



の方々が「まち」を大切にしている思いが感じられます。子ども達はこの小谷山公園をとってもよく利用しています。楽しく遊んでくれるのはよいのですが、近隣の方からその使い方についてご指導をうけることもあります。使う時間を守ることやゴミの持ち帰り等、学校でも指導してまいります。各ご家庭におかれましてもご協力くださいますよう、お願いいたします。みんなで使う公園、誰もが気持ちよく使えるように心がけたいものです。

この冬、日本は記録的な寒波に襲われています。そんな中でも外で元気よく体育をしている子ども達を見るにつけて「子どもは風の子」という言葉が思い起こされます。そんな元気な子ども達が「まち」と共に、より豊かに学ぶことができるよう、2月も教職員一同、努めてまいります。2月も宜しくお願いいたします。